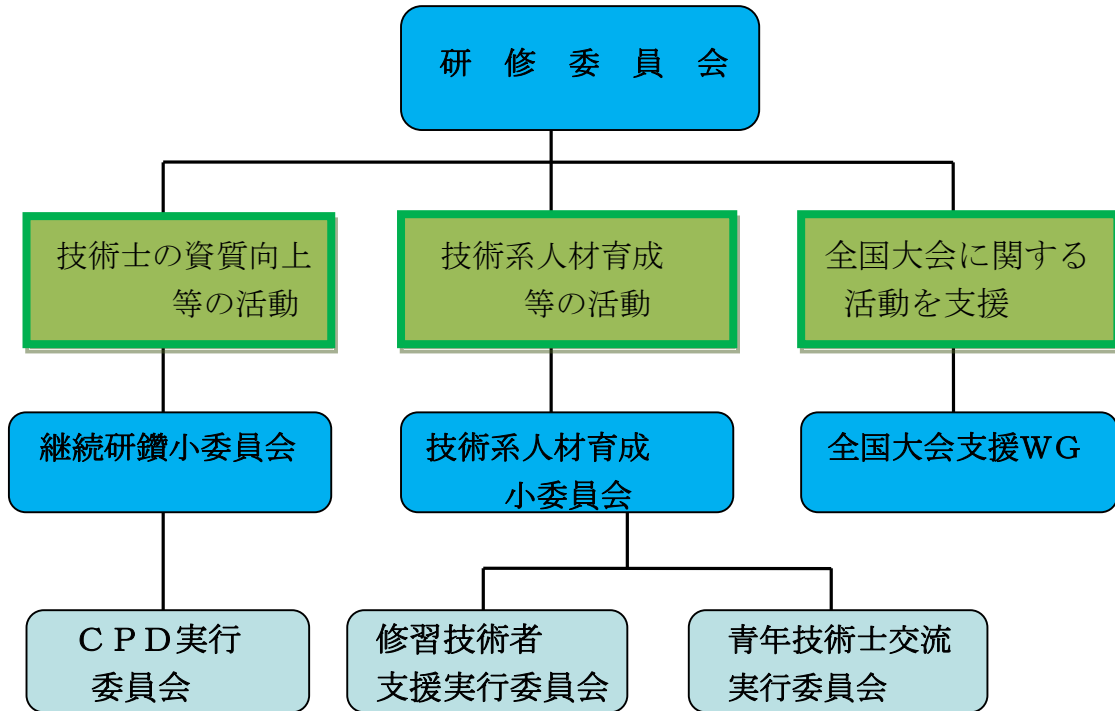


1. 研修委員会の組織体制



上記3実行委員会の活動や詳細については、リンクから各ホームページをご覧ください。

- ・ CPD 実行委員会

<http://www.engineer.or.jp/cmt/syougai/index.html>

- ・ 修習技術者支援実行委員会

<http://www.engineer.or.jp/cmt/cmtesiho/>

- ・ 青年技術士交流実行委員会

<http://sites.google.com/site/youngengineerjp/home>

2. 研修委員会の活動

平成21年6月の日本技術士会の常設委員会の組織改正に伴って、それまでの事業委員会の管掌事項である研修・人材育成を主要業務とする研修委員会が新たに設置され、その活動の役割を次のとおりとした。

<活動目的>

日本技術士会が、新たな公益法人制度に向かって事業活動の展開をはかるとともに、社会の中で「行動する日本技術士会」として更なる発展を目指すために、技術士会の継続研鑽事業のビジョンを示す。

<新定款に基づく基本事業(下表の(2, 3, 6))と研修委員会に期待される役割>

(平成21年5月7日理事会承認)

基本事業	研修委員会に期待される役割等
(2) 技術士の資質向上に関する事項	「資質向上」は技術士法で規定された技術士の責務で、ある。関連学協会と連携をとりつつ、技術士のCPD（継続研鑽）の実施に関わる活動をより強化する。
(3) 技術士制度の普及・啓発活動に関する事項	技術士制度の普及・啓発活動は、本会の中心的事業の一つである。このため、会員以外の積極的な参加も目指した講演会・シンポジウム・セミナー活動等を積極的に展開する。
(6) 技術系人材の育成に関する事項	一般技術者の他、JABEE認定過程修了生・技術士第一次試験合格者などの修習技術者を広く対象に、専門能力の習得・向上などに関する人材育成事業を展開し、新たな会員を確保し得る基盤を構築する。

このほかに、旧事業委員会が少々業務としていた「研修会、全国大会等企画実施」のうちの「全国大会開催支援」を目的とするワーキンググループを所掌することになりました。特に、平成23年度には日本技術士会創立60周年を迎え、東京にて第38回技術士全国大会を開催することになっており、これを実施するための組織体制を構築し、開催準備を進めることになっている。

上記の活動目標を達成するために以下の事項を検討課題とし、課題解決に向けて検討を続け成果を挙げていくように務めます。

- ① CPD推進体制の抜本的な見直し：継続研鑽の仕組みづくりとCPD会計の取り扱いの

検討

- ② CPDの質の向上とその担保：技術士会内部の教育体制構築とCPD登録等のあり方を答申する

<実行委員会の管轄する実行委員会（「委員会運営に関する規則」（IPEJ05-1-2007）第21条別表2より）>

研修委員会は所掌変更に合わせて、旧事業委員会の所掌していた「青年技術士交流」、「生涯教育推進」、「修習技術者支援」の各実行委員会を管轄することになった。なお、生涯教育推進実行委員会は「CPD実行委員会」と名称を変更した。

（1）CPD実行委員会

- ① 技術士CPD推進のための研鑽、講演会等諸行事の調査・企画・運営
- ② 技術士CPDの啓発

（2）修習技術者支援実行委員会

- ① JABEE認定過程修了生及び技術士第一次試験合格者への修習プログラム及び指針の提供
- ② JABEE認定校等への修習制度及び技術士制度の啓発

（3）青年技術士交流実行委員会

- ① 本会の運営についての企画・立案に対する若手技術士層としての積極的な参画、協力
- ② 若手技術士向けを中心とした研鑽事業の企画・実施
- ③ 各支部における若手技術士グループとの交流による研鑽活動の活性化
- ④ 若手技術士としての国際交流の実施

上記3実行委員会の活動や詳細については、リンクから各ホームページをご覧ください。